

かわ づ なな だる

# 河津七滝

## 個性あふれる七つの滝と 渓谷の景観美を楽しめる 河津七滝

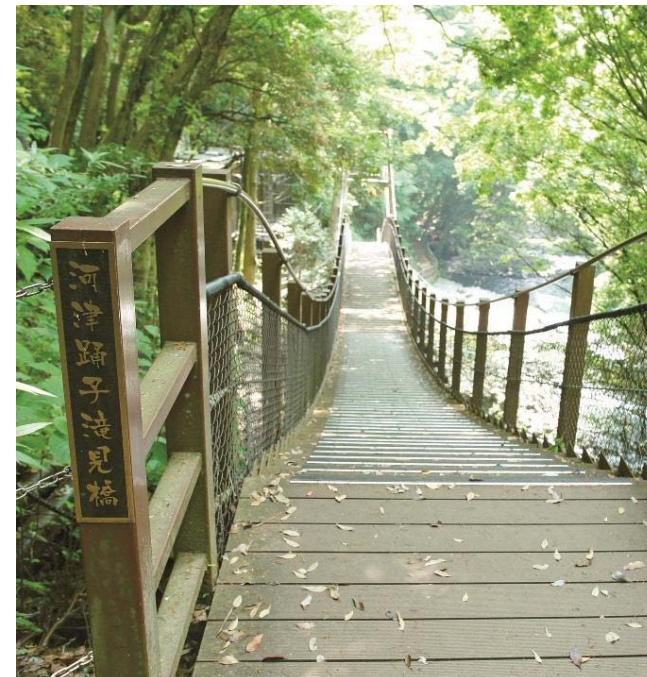
かわ づ なな だる



①伊豆の踊子の像がある初景滝



②滝の周りの玄武岩がヘビのウロコに似ている蛇滝



③46mの「片塔式ウェーブ橋」という珍しい吊り橋

所在地	河津町梨本1112-12 他
面積	51.00ha
施設	河津七滝(釜滝、エビ滝、蛇滝、初景滝、カニ滝、出会滝、大滝)、猿田淵、遊歩道、河津踊子滝見橋(吊り橋)、河津七滝ループ橋
アクセス	伊豆急河津駅からバス25分

### 地形

約2万5千年前におきた噴火で天城山の南側に位置する登り尾火山から流れ出した溶岩が河津川に流れ込み、谷間を2km流れ下り、その後河津川の流れはこの溶岩を美しく磨き上げ、河津七滝を作り出した。

### 歴史

2011年9月の豪雨で落石が各所で発生し、一部区間が通行止めとなったが、2013年に再整備され、釜滝の滝つぼにせり出す木製の展望デッキや「河津踊子滝見橋」が整備され、見どころの多い歩道に生まれ変わった。

2018年4月にユネスコ世界ジオパークに認定され、河津七滝もジオサイトの一つとなっている。

### 観光

河津七滝は片道1時間かけて巡ることができる全長850mの遊歩道があり、長さ46mの吊り橋や伊豆の踊子像があり、落差22mの釜滝には滝のしぶきが当たるほど近い展望デッキがある。







2. エリア図





## ① 国道414号から河津七滝へのアクセスポイント

### (1) 国道414号南側の玄関口



#### 河津七滝の玄関口「直径80mの巨大なループ」

「天城越え」の国道414号が通るループ橋。2重のループで高低差45mをいっきに解消します。ループ橋ができる前は東側の山の中をつづら折りになった国道が通っていましたが、1978年の伊豆大島近海地震の際に起こったがけ崩れをきっかけにして、このループ橋が作られました。険しい天城の山を克服するための人々の工夫のひとつです。ループ橋は、その構造や耐震性が評価され、土木学会田中賞を受賞しております。河津七滝への玄関口であり、初めて訪れる方にも分かりやすい案内サインが必要です。

### (2) 国道414号北側の玄関口



#### 水垂入口

国道414号は、天城路を貫く主要な道路で、天城の山並みを楽しむことができます。遊歩道と接続しており、七滝へのアクセスもよいのですが、案内サインが不揃いで統一されておらず、北側の進入口については、分かりにくく、案内もしづらい状況です。案内サインをわかりやすいものにしていくことが必要です。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・案内サインの形状、デザインや色彩などが、不揃いで統一されていない
- ・案内サインの集約化や周囲の景観と調和した分かりやすいデザインが必要

## ② 地球活動によって産み出された変化にとんだ溪谷

### (1) 自然



#### 火山の噴火によって作り出された美しい溪谷

約2万5千年前におきた噴火で天城山の南側に位置する登り尾火山から流れ出した溶岩は河津川へ流れこみ、谷間を2km程流れ下りました。その後河津川の流れはこの溶岩を美しく磨き上げ、河津七滝を作り出しました。四季を通じて人々を魅了する滝々を見ることができる遊歩道の適切な管理を、継続していく必要があります。

### (2) 眺望



#### 滝のしぶきが当たるほど近い展望デッキ

釜滝の展望デッキは滝のしぶきが当たるほど近く、迫力があります。こうした場所において、近距離から眺める視点場づくりを進めることで、更に楽しみ方が広がります。

### (3) 吊り橋



#### 溪谷の魅力を体感できる吊り橋

溪谷沿いの遊歩道には、安全、楽しく散策いただくため、『河津踊子滝見橋』等の橋がかけられており、四季を通じて、滝々を楽しむことができます。このため、橋の点検、補修等が必要です。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・溪谷の景観美を安全に楽しむための対策
- ・一部の吊り橋が落橋し、遊歩道の回遊性がない
- ・落石や倒木の危険のある箇所がある
- ・樹木が繁茂し、眺望や案内サインを邪魔している

### ③ 地域住民と観光客の利用調和と川や水に親しめる空間

#### (1) 地域住民の日常利用



##### 町民に愛される憩いの場

町民にとって渓谷沿いの遊歩道は、ウォーキングや散策などの場となっています。また、初景橋付近から初景滝付近の車両進入禁止区間は、バリアフリーとなっており、車いすやベビーカーを使用する方も散策することができます。誰もが安心して散策できる歩道や休憩場所の整備を行うことが必要です。

#### (2) 川と親しむ



##### 川と親しむ場

遊歩道は、増水した場合を考慮し、水辺から遠ざけられています。カニ滝周辺には、遊歩道から降りていき、川の水に触れることができます。人と川との触れ合いを、この地で大切にしていけることが必要です。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・散策中に眺望を楽しむことができるための工夫
- ・カニ滝周辺の広場の活用
- ・七滝町営駐車場のトイレの老朽化

## 個性あふれる七つの滝と溪谷の景観美を楽しめる 河津七滝

## 地域住民の視点

- ・一部の吊り橋が落橋し、遊歩道の回遊性がない。
- ・落石や倒木の危険のある個所があり、観光客が安全に遊歩道を歩けるような安全対策が必要。
- ・カニ滝周辺の広場を整備してほしい。
- ・国道から七滝へと誘導する案内板が少ない。
- ・駐車場のトイレが古くなっている。
- ・遊歩道が一部、滑りやすい箇所や陥没している箇所がある。
- ・樹木が繁茂し、眺望を邪魔している箇所がある。

## 有識者の視点

- ・北側の入口は、インパクトがありシンボル性があるような目印があった方がよい。
- ・看板や自動販売機等様々な色があるため、景観に配慮したものにしたい方がよい。
- ・アクセスしやすく快適に歩ける遊歩道がよい。
- ・遊歩道の照明設備の景観配慮。
- ・周辺民間施設の景観配慮(資機材の目隠しなど)。
- ・店舗の広告旗の乱立や目立つ看板の撤去。
- ・遊歩道手摺の景観配慮。



# 個性あふれる七つの滝と溪谷の景観美を楽しめる河津七滝

## 目標 1

国道414号から河津七滝へのアクセスポイントの景観づくり



## 景観づくり方針

- ①初めての方でも分かりやすい案内のできる景観づくり

## 目標 2

地球活動により産み出された変化にとんだ溪谷を楽しむ景観づくり



## 景観づくり方針

- ①美しい溪谷をより印象的に見せる場づくり
- ②歴史に触れ、ゆったりと溪谷を満喫できる場づくり

## 目標 3

地域住民と観光客の利用の調和が図られ、川に親しめる景観づくり



## 景観づくり方針

- ①地域住民と観光客の利用の調和が図られ、川に親しめる場づくり

目標1 国道414号から河津七滝へのアクセスポイントの景観づくり

方針1-① 初めての方でも分かりやすい案内のできる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	①景観に配慮し、分かりやすい案内サインの設置や案内サインの集約 【屋外広告物やサインを設置する際には眺望を遮らない・周辺景観に違和感を与えないよう注意する】 ②景観や案内サインを阻害する草木の除去 【樹木等が眺望を妨げないように配慮する】	●町  ●町、地域住民
中・長期	③ガードレール等を自然景観と調和した景観配慮型の色に変更 ④観光バスの乗降場所の確保	●町 ●町



## 目標2 地球活動により産み出された変化にとんだ溪谷を楽しむ景観づくり

### 方針2-① 美しい溪谷をより印象的に見せる場づくり

	取組み	実施主体
短期	⑤地域主体による樹木等の手入れ・管理 【樹木等が眺望を妨げないように配慮する】	●町、地域住民
中・長期	⑥遊歩道の手摺を景観配慮型のものに変更 ⑦景観に配慮した案内サインへの更新 ⑧店舗の看板や広告旗のルールづくり ⑨ナイトウォーク等の各種イベントを通じ、景勝地・観光名所としてPRを行いつつも景観施策への理解を深める	●町 ●町 ●町、事業者 ●町、地域住民、事業者

### 方針2-② 歴史に触れ、ゆったりと溪谷を満喫できる場づくり

	取組み	実施主体
短期	⑩歩きやすい歩道の整備 ⑪溪谷を楽しむための落橋した橋の整備及び既存の橋の点検・補修 ⑫安全に歩くための倒木除去や落石防止 ⑩⑪⑫【工作物等の色彩及びデザインは周囲の景観を引き立たせるため、それ自体目立つものとしないうち配慮する】	●町 ●町 ●町
中・長期	⑬伊豆半島ジオパークビジターセンターの整備・管理運営	●町

目標3 地域住民と観光客の利用の調和が図られ、川と親しめる景観づくり

方針3-① 地域住民と観光客の利用の調和が図られた川と親しめる場づくり

	取組み	実施主体
短期	⑭七滝町営駐車場の有料化も含めた管理方法の検討 ⑮七滝町営駐車場の周辺景観と調和した外観のトイレの整備 【工作物等の色彩及びデザインは周囲の景観を引き立たせるため、それ自体目立つものとしないう配慮する】 ⑯老朽化した四阿の撤去	●町 ●町 ●町
中・長期	⑰カニ滝親水園地の整備 ⑱自動販売機の景観配慮型の色に変更	●町 ●事業者



⑬ 老朽化した四阿の撤去

⑮ 自動販売機の景観配慮型の色に変更



⑪ 渓谷を楽しむための落橋した橋の整備及び既存の橋の点検・補修

⑯ カニ滝親水園地の整備



全体

- ② 景観に配慮し、分かりやすい案内サインの設置や案内サインの集約
- ⑤ 地域主体による樹木等の手入れ・管理
- ⑥ 遊歩道の手摺を景観配慮型のものに変更
- ⑩ 歩きやすい歩道の整備
- ⑫ 安全に歩くための倒木除去や落石防止
- ⑦ 景観に配慮した案内サインへの更新
- ⑧ 店舗の看板や広告旗のルールづくり
- ⑨ ナイトウォーク等の各種イベントを通じ、景勝地・観光名所としてPRを行うとともに景観施策への理解を深める
- ⑬ 伊豆半島ジオパークビジターセンターの整備、管理運営



- ① 景観に配慮し、分かりやすい案内サインの設置や案内サインの集約
- ② 景観や案内サインを阻害する草木の除去
- ④ 観光バスの乗降場所の確保



国道414号

- ⑭ 七滝町営駐車場の有料化も含めた管理方法の検討
- ⑮ 七滝駐車場の周辺景観と調和した外観トイレの整備



- ① 景観に配慮し、分かりやすい案内サインの設置や案内サインの集約
- ② 景観や案内サインを阻害する草木の除去
- ③ ガードレール等を自然景観と調和した景観配慮型の色に変更



凡例

- 紫字：短期的な取組み
- 緑字：中・長期的な取組み